

カテゴリー

「Google Chatで校内情報共有」(教職員の働き方改革)

活用概要

毎日の教育課程推進の中で様々な情報が錯綜します。全教職員のChromebook活用が日々の日常になっていれば、Chatでの構内情報共有が当たり前となり、効果的な教育活動を推進することができます。

使用アプリ等 Google Chat Classroom

【活用目標や工夫点、活用の流れや生徒の様子】

●学校現場では職員室と各教室での情報のやり取りが重要な業務遂行の観点となることは当然です。出席の状況、遅刻や早退の状況、保健室への生徒移送といった連絡は、インターフォンだけでは困難な状況があります。Google Chatであれば、非常にスムーズにすべての学級との情報連携が可能です。本校では日々リアルタイムに学校全体の生徒の状況がChatにより効果的に情報連携され、各教員が情報を確認して適切な行動を行うようにしています。

●また、各校務分掌での確認事項の共有だけでなく、小中学校間での意思統一の推進、市内学校間での協議も簡単に進めることができます。

●生徒指導案件が発生した場合も、案件でChat Spaceを立ち上げ、調査内容等を瞬時に共有するようにしています。

●関係教員が授業中であるため、確認ができない等の場合、なかなか適切な対応ができにくいこともあります。臨機応変に学校現場で起こる事態や市内の学校間で情報共有すべき事項について、Google Chatを活用することは重要な取組と考えます。また、事案・事項によっては、Classroomの活用は必要であり、情報共有・協議の内容に応じて活用する必要があります。

